

4学年

音楽科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
 (2) 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
 (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。

◆ 評価の観点

- 1)進んで音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとする。
 2)音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。
 3)音楽表現をするための基礎的な技能を伸ばし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。
 4)音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴いている。

◆ 評価の方法

活動の様子、実技、授業態度(発表など)、ノート(プリント)、テスト

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	にっぽんのうた みんなのうた ・さくらさくら ・さくらさくら変そう曲 ・まきばの朝 ・とんび	・昔から歌い継がれている歌に親しむ。 ・箏による演奏を聴き、音色に親しむ。 ・情景を思い浮かべながら、旋律にあった歌い方を工夫する。
	ひびけ歌声 ・はじめの一步 ・飛べよツバメ ・「サウンド オブ ミュージック」から ・今月の歌(通年) 他	・旋律の動きをとらえ、表現を工夫して、伸びやかな歌声で歌う。 ・色々な声の響きや特徴を味わい、ミュージカルの音楽を楽しみながら聴く。
	ひょうしとせんりつ ・エーデルワイス ・トルコ行進曲 ・ラバース コンチェルト ・メヌエット	・拍の流れにのって、生き生きと歌ったり、演奏したり、指揮をしたりする。 ・拍子の違いによる楽曲の違いを感じ取って聴く。
	せんりつと音色 ・ゆかいに歩けば ・とんび	・旋律の特徴をいかして、レガートやスタッカートなどの歌い方を工夫する。
	めざせ楽器名人 ・ハローサミング 他	・リコーダーのサミング(高い音)の奏法を身につける。
	アンサンブルの楽しさ ・アラ ホーンパイプ	・音が重なり合う響きを感じ取って、聴いたり演奏したりしアンサンブルの楽しさを味わう。
	音のスケッチ ・川はよんでいる	・川のイメージをもとに、音型をつくり、組み合わせながら音楽を作る。
後期	お祭りや民ようめぐり ・日本のお祭りをたずねて ・ソーラン節	・日本の各地域の音楽のリズムや旋律に親しむ。リコーダーで旋律を重ねておはやしをつくったりする。 ・リズムや楽器の特徴を感じ取り、世界の音楽を聴く。
	にっぽんのうた みんなのうた ・もみじ 他	・旋律の重なりや響きを感じ取って、二部合唱する。
	えんそうのツボ ・ラ クンパルシータ	・パートの役割や音の重なりを聴き取り、曲想を生かして楽曲にあった演奏を工夫する。
	音楽のききどころ ・ノルウェー舞曲 第2番	・楽器の音色や響きの特徴をとらえ、楽曲の形式の面白さを味わって聴く。
	音楽の中の会話を楽しもう ・歌げき「魔笛」から「パパパ」	・旋律の掛け合い(交互唱)を味わって聴く。
	みんなの音楽パーティー ・グッデー グッバイ ・まつりうた 他 校歌・君が代	・発声や呼吸の仕方に関心をもって歌い方を工夫したり、声を揃えて歌う喜びを味わったりする。 ・心を込めて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わう。